

モス日通信

在ロシア日本国大使館附属
モスクワ日本人学校
第9号

吉田 総一郎

(研究授業報告)主体的・協働的な学びと個別指導の充実を目指して

先日、モスクワ赴任後初めての研究授業を実施しました。本校の研究テーマ「在外教育施設における、主体的・協働的な学びと問題解決能力の育成」に基づき、特に“効果的な個別指導”的視点に焦点を当て、中学部1年生の数学で授業づくりを行いました。

○個別指導の実践とねらい

中学部1年生は3名と少人数です。生徒自身で学習を最適化し調整ができるようにさせるために、苦手な生徒のサポートと、得意な生徒をさらに伸ばすという、両側面からの個別指導の充実を目指しました。1時間の授業内でこの両立を図ることは、非常に難しく感じていましたが、今回以下の工夫を行いました。

○全体指導(例題)での工夫

全員で取り組む例題においても、数値設定の仕方にこだわり、多様な意見や考えが生まれることを予測して手立てを準備しました。

○個別指導(適用問題)での工夫

授業の後半では、難易度別の適用問題を3種類準備し、生徒が自分自身の力に合わせて問題を選択できる自己調整の機会を設けました。

○授業を通して得られた学びと今後の課題

実際に授業を行ってみて、多くの学びと貴重な示唆を得ることができました。少人数指導だからこそ可能なきめ細やかな指導の良さを改めて認識しました。

一方で、時間配分や、個別指導と全体指導のバランスを取ることの難しさという課題も再認識しました。この経験を活かし、今後も在外教育施設で学ぶ生徒たちの実態を深く理解し、授業改善に努めてまいります。

○在外教育施設の生徒の実態と教育課題

在外教育施設で学ぶ生徒たちは、2・3カ国語を話せるなど、素晴らしい言語能力を持っている生徒が多く在籍しています。これは、グローバルな環境で育つ大きな強みです。しかし、数学における論理的思考力や批判的な見方・考え方の育成、また、思考を整理しながら相手に伝える力に関しては、引き続き向上させていく必要があります。

今後も、私の経験や感じていることを先生方と積極的に共有し、本校の質の高い教育へと繋げていければと考えております。



HP : <https://sites.google.com/view/mosnichi-edu/home?authuser=0>

Instagram : Mosnichi gram